



学年行事で成長、仲間との信頼深まる

5月26日
~28日

1年 春季遠足

伊豆の国市菫山

「臨機応変」 場に応じた行動を



体育館で出発式を行い、愛鷹中学から片浜駅まで本降りの中を歩いた時には、どのような遠足になるかと心配しましたが、J R、伊豆箱根鉄道と乗り継いで菫山時代劇場に着いた頃には、雨も弱くなりました。

電車の中では、お話を控える、他の乗客に席を譲るなどを仲間同士で意識したり教え合ったりして、中学生として望ましい気配りができました。

午前中に雨も上がり、願成就院、城池親水公園、反射炉を巡る班別散策では、直接史跡を目にして新たな発見をすることで歴史を感じたり、理解を深める学習ができ、昼食休憩では班員や友達と楽しく過ごすことができました。

今回の遠足は集団生活に必要な規律や協調性、自主性を発揮した姿が多く見られたよい活動になりました。

2年 絆合宿

山梨県西湖「浜の家キャンプ場」

「一致団結！ 深める絆」



絆合宿では、鮎釣り体験、4食の食事作り、ウオークラリー、キャンプファイヤーと緑豊かな自然の中で、力を合わせて活動に取り組みました。

一年前の夢合宿に比べ、時間を意識して活動することができました。1日目は、食事作りの後片付けや調理器具の管理がしっかりとできませんでしたが、2日目、3日目は各班協力し、まるで別の集団のように見違える活動ぶりでした。

ウオークラリーは、前日までの雨で急な斜面は滑りやすく危険が予想されたため、三湖台コースから傾斜が緩やかな紅葉台コースへと変更しましたが、それでも慣れない山道や深い樹海の遊歩道はなかなかハードな道のりだったようです。キャンプファイヤーでは各クラス格好良く決めたスタンツ、仲良く踊ったフォークダンスで大いに盛り上がりました。

最終日は、キャンプ場の方が「こんなにきれいにしていただいたことはない。感激しています。」とおっしゃっていたほど徹底した片付け。最後をしっかりと締めて終了しました。

まだ帰りたくない絆合宿への思いもある中、家のありがたさも身にしみたという人もいたようです。

3年 修学旅行

奈良・京都方面

Making Moving Memo ～3年生全員で創る物語～



新幹線で京都駅に降りると沼津の雨がうそのように、快晴とさわやかな風が迎えてくれました。1日目はバスで奈良に向かい法隆寺と東大寺・奈良公園の見学です。五重塔、金剛力士像、大仏などの迫力に魅了されながら、学級や班で見学しました。

2日目は京都市内の大学生とシニアの観光ボランティアの方に班別研修先を案内していただき、見どころを逃さず、ふれあい満載の見学ができました。

3日目は、学級別で研修し、京都ならではの体験学習も行いました。座禅では少々の苦痛を味わいながら、心を整える貴重な時間になりました。友禅染め、清水焼絵付け、和菓子作りでは、自分だけの一品を作り上げてその完成度に満足しているようでした。

愛鷹に戻り各バス停で下車していく時に運転手さんへ挨拶する姿から、それぞれが多くの方に感謝の思いを持って過ごせた2泊3日の旅であったことがうかがえます。

3日間通して実行委員会を中心に時間とマナーを意識した行動の呼びかけがよくあり、落ち着いたのあるよい修学旅行を作り上げることができました。

自ら考えて行動するボトムアップ理論を学びました

5月22日(月)に畑喜美夫先生を講師に招いて、「自立した集団育成のために(ボトムアップ体制づくり)」という演題で夢講話を開催しました。ボトムアップ理論とは生徒が自ら考えて行動するためのベースとなる考え方です。

講話の中で伝えられたキーワードを以下に紹介します。

- ・後輩から学ぶアンテナを持つ
- ・観て、感じて(五感)、気づき、実行する
- ・こだわりの素敵さが質を高める
- ・自分で考え、情報を集め、決断し、行動することが大切
- ・3つの大きな法則

勇気を持って挑戦しての失敗こそ成功のチャンス

挑戦＝成功 失敗とは挑戦しないこと

- ・やらされるクラブ、学習(外発的動機)それともやるクラブ、学習(内発的動機)
- ・自主トレが一番能力を高める
- ・自立のキーワード on the pitch and off the pitch

自分のもの・ことは自分で(表裏一体・コントロールする)

- ・目標設定 イメージと現実にはギャップがある(知っているのとやるとは大違い) どのように埋めていくか
- ・「夢＝目標」を達成するには自分で矢印を作る トレーニング and 常に意識して確認できる環境
- ・凡事徹底「良い習慣は才能を超える」 1あいさつ 2返事 3整理・整頓・清掃
- ・自立型へ 仲間とともに挑戦「考える、話す、書く」 徹底的なミーティング
意見の食い違いは多様性 自分と違う発想を持っている仲間はすごく貴重
リスペクトする 成長する言葉 受け入れが難しい場合も受け止める
- ・本番だけ 三流、練習から 二流、日常生活から 一流
- ・鷹の選択 変化を期待し、勇気を持って行動



講師：畑喜美夫先生

広島県立安芸南高等学校教諭

大学生まで各年代の日本代表として活躍。卒業後、高校教師となり、小中学生をサッカークラブで指導。広島県立観音高等学校に赴任するとサッカー部監督となり、ボトムアップ理論を用いた指導でチームを全国優勝に導く。